

高等学校芸術科（美術）採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

| 問題番号 | | 正 答 [例] | 採 点 上 の 注 意 | 配 点 | | |
|------|---|---|---|---|----|------------------|
| 1 | 1 | (1) (イ) | | 各 2 × 6 | 29 | |
| | | (2) (ア) | | | | |
| | | (3) (ウ) | | | | |
| | | (4) (カ) | | | | |
| | | (5) (オ) | | | | |
| | | (6) (ク) | | | | |
| | 2 | (1) | 混ぜる色料の色数を増やすほど明度や彩度が低くなり、黒色に近づくこと。 | 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。 | | 各 3 × 3 |
| | | (2) | ・色相環の向かい合う位置にある色のこと。 ・混色すると無彩色になる2色のこと。 ・ある色を見つめていて、取り除くと、残像に見える色のこと。 | 1つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。 | | |
| | | (3) | 凹凸のあるものに薄い紙をあて、鉛筆やクレヨンなどでこすって形やテクスチャーを写し出す技法のこと。 | 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。 | | |
| 3 | ・絞りの値を変え、写真の明るさとピントのボケを調節する。 ・シャッタースピードを変え、ブレやスピード感を表す。 ・レンズを使い分け、被写界深度を工夫する。 ・カメラアングルを変えて構図を工夫する。 ・光の当て方を工夫して、対象の雰囲気や表情を変化させる。 | 2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。 | 各 4 × 2 | | | |
| 1 | 実例 | 非常口誘導標識 | 実例と理由が対応しているものだけを正答とする。 問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。 | 6 | | |
| | 理由 | ・言語が通じない人たちにも、緊急時に逃げ出すための出口の情報が簡潔な形と色の組合せで分かりやすく、直感的に正確に意味が一目で伝わるようになっているため。 ・標識は、多くの他者を対象としているため、社会性や客観性の重要性を理解することができるため。 | | | | |
| 2 | 特産物 | 次の2点を踏まえて、提示作品を描くとともに、問題点として示していること。 ・伝える対象が特定の人を想定しているもの。 ・包む特産物の特性を生かしていないもの。 ・特産物を連想させる形や色になっていないもの。 ・特産物が何であるかを明確に示さず、中身の魅力が伝わらないもの。 ・開けやすさや、持ち運びやすさなどの工夫がなく、扱いにくいもの。 ・特産物が壊れないように保護されていないもの。 | 問題点が2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。 提示作品と問題点が対応しているものだけを正答とする。 | 34 | | |
| | 提示作品 | | | | | |
| | 問題点 | | | | | |

高等学校芸術科（美術）採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

| 問題番号 | 正 答 〔例〕 | 採 点 上 の 注 意 | 配 点 | | |
|------|--|--|---|----|----|
| 1 | (ア) 錦絵 | 東錦絵 もよい。 | 各 2 × 4 | | |
| | (イ) 彫師 | 摺師 もよい。 | | | |
| | (ウ) 摺師 | 彫師 もよい。 | | | |
| | (エ) 歌川広重 | 安藤広重 もよい。 | | | |
| 3 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・相違点や共通点を調べるなどして把握しながら、その時代における人々の感じ方や考え方、生き方や願いなどを感じ取らせる。 ・国や地域、民族によって表現方法や造形感覚に相違があることに気付かせた上で、美にあこがれる人間の普遍的な心情など、その共通性にも目を向けさせ、それぞれの作品のよさや美しさなどを味わわせ、その特質を把握させる。 ・日本独自の美意識や他国の美術文化のよさや美しさを感じ取り、美術を通じた国際理解と美術文化の継承と創造について考えさせる。 ・先人の作品から学ぶことの意味と、自己の価値観と生き方を結び付けて考えさせたり、対話を通じて自分自身と先人との関わりだけでなく、他者や自然、社会との関わりなどから考えさせたりする。 ・その時代の生活や社会の状況、信仰や人生観など、人々の精神的背景に裏付けられつつ形成されてきた日本の美術について理解させた上で、他国にもそれぞれの歴史や気候風土を背景として形成された特有の美術文化があり、発展していることを理解させる。 ・それぞれの作品の価値観が、その時代や地域のみに限定された独立したものとして捉えるのではなく、現代にも息づいていることに気付かせる。 | 2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば表現は異なってもよい。 | 30 | 38 |
| 4 | 1 | (a) 主題 | 各 5 × 3 | | |
| | (b) 構成 | | | | |
| | (c) 意図 | | | | |
| 4 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・主題を追求していくために、作品の全体を大きく捉えながら細部を確認したり、細部を表現しながら全体を捉え直したりするなどし、作品を多様な視点から見直すこと。 ・表現を追求する態度を大切に、試行錯誤しながら、偶然できた表現のよさを生かしたり、形に表していく中で構想を練り直したりするなどして、表現を深めること。 | 2つとも合っているものだけを正答とする。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。 | 30 | 45 |
| 5 | <p>次の点に留意して描いていること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 形を正確に捉えて表現していること。 ○ 鉛筆の濃淡によって立体感を表現していること。 ○ 鉛筆の濃淡によって質感を表現していること。 ○ 画面にバランスよく構成していること。 | | 各 1 2 × 4 | 48 | |